



LPI-Japan主催イベント

HTML5 プロフェッショナル認定試験 レベル1 ポイント解説セミナー

2017年5月27日

講師：大藤 幹

(株式会社クリーク・アンド・リバー社 認定講師)



本日解説する主な内容

- HTML5プロフェッショナル認定試験の概要
- 新しい出題範囲「Ver2.0」について
- HTML5→HTML5.1で何が変わったのか？

HTML5プロフェッショナル 認定試験の概要



HTML5プロフェッショナル認定資格とは？

HTML5プロフェッショナル認定資格は、
HTML5・**CSS3**・**JavaScript**など
最新のマークアップに関する技術力と知識を
中立的な立場で認定する認定資格で、
2つのレベルに分かれています。



2つのレベル



HTML5 Level.1

→ Markup Professional

マルチデバイスに対応した**静的なWebコンテンツ**をHTML5を使ってデザイン・制作できる。



HTML5 Level.2

→ Application Development Professional

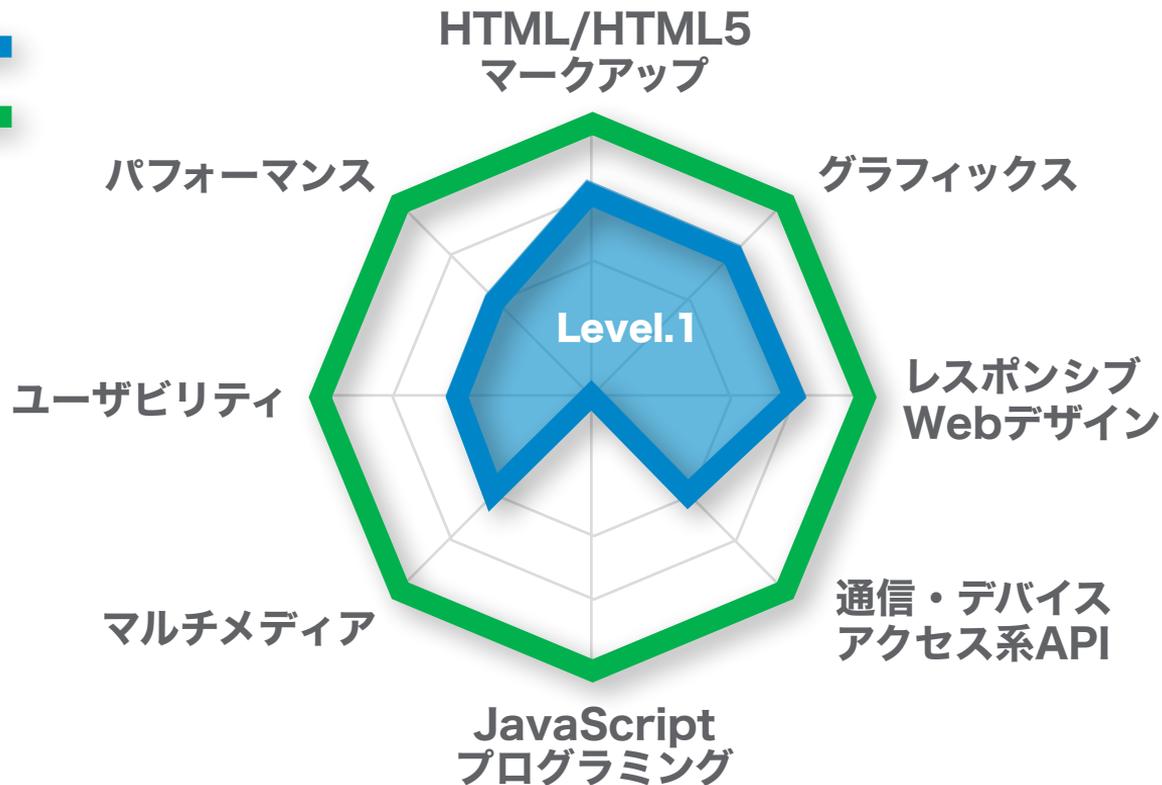
システム間連携や最新のマルチメディア技術に対応したWebアプリケーションや**動的Webコンテンツ**の開発・設計ができる。



対象となる技術の範囲

Level.1 

Level.2 





レベル1 試験概要



所要時間	90分 (機密保持契約とアンケートの時間を含む)
試験問題数	約60問
受験料	¥ 15,000 (税抜)
試験実施方式	コンピュータベーステスト (CBT)

合格点は何点？



約7割の正答率で合格

回答パターンは？



単一選択 ・ **複数選択** ・ **記述式**



Miki Ofuji

has successfully passed LPI-Japan HTML5 Professional Certification Level.1 Exam and attained

LPI-Japan HTML 5 Professional Certification Level.1

LPI-Japan certifies you as an HTML5 Professional Certification Level.1 Certified Professional for the term shown below.

Acquired
On the 11th day of October 2013

Active
Until the 1th day of January 2019



Chairman of LPI-Japan

trademarks and registered trademarks of LPI-Japan. All rights Reserved.
the W3C: <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/>



認定証・認定カード・認定者ロゴ

認定証



認定カード



認定者ロゴ (名刺用)





オフィシャルサイト

<http://html5exam.jp/>

Twitter

[@html5Cert](https://twitter.com/html5Cert)

Facebook

<https://www.facebook.com/html5exam>

新しい出題範囲
「Ver 2.0」について



出題範囲の変更

- 2017年**3月1日**に出題範囲が改定され
Ver2.0となった
- 2017年**8月31日**までは古い出題範囲
(Ver1.0)でも受験可能



Ver2.0でどう変わったのか？

- ✓ クライアント系のみのお仕事をしている方に配慮し、**サーバ関連技術**に関する出題が**減少**
- ✓ Webディレクターの方も受験しやすいように、HTML5で何ができるのか（**APIの知識**）を問う問題が**増加**



もう一つの重要な変更点！

出題の対象となる仕様が

HTML5.1 になった！



出題対象となるHTMLの仕様が異なる

Ver1.0

2014年10月28日 W3C勧告

HTML5



Ver2.0

2016年11月1日 W3C勧告

HTML5.1

HTML5 → HTML5.1

で何が変わったのか？



HTML5.1で

新しく追加された要素



1. **picture**要素 → レスポンシブイメージ

2. **details**要素

3. **summary**要素

4. **menu**要素

5. **menuitem**要素

→ ディスクロージャーウィジェット

→ コンテキストメニュー

Demo



見出しとセクションの 使い方



HTML4.01 XHTML1.0

- ➡ 見出し
- ➡ h1が最も重要、以降重要度が低くなる

HTML5 HTML5.1

- ➡ セクションの見出し
- ➡ 1～6の数字はランク

**おぼえておくべき
セクション関連用語**



セクションとは何か？

**見出しと
それに対応するコンテンツ
を含む範囲**



セクションとは何か？

- section要素
- article要素
- aside要素
- nav要素



セクションとは何か？

セクションは**見出しとセット**で使うのが基本。

ただし、**見出しのないセクション**もあれば、**セクションのない見出し**もある。



アウトラインとは何か？

```
<body>  
  <h1>見出しA</h1>  
  <section>  
    <h2>見出しB</h2>  
    <section>  
      <h3>見出しC</h3>  
    </section>  
    <section>  
      <h3>見出しD</h3>  
    </section>  
  </section>  
</body>
```

アウトライン

1. 見出しA
 1. 見出しB
 1. 見出しC
 2. 見出しD



セクショニングルートとは何か？

内部に**独自のアウトラインを持つ要素**。

セクショニングルートのアウトラインは、**外部のアウトラインとは無関係になる**。

例：blockquote要素



セクショニングルートとは何か？

セクションのルートになるという意味で、
body要素もセクショニングルートに含まれる。

セクションに関する 重要な仕様



POINT 1

セクション内の**最初の見出しが、**
そのセクションの見出しとなる。



POINT 1

```
<section>
```

```
  <h1>見出しA</h1>
```

```
  <h2>見出しB</h2>
```

```
  <h3>見出しC</h3>
```

```
</section>
```

```
<section>
```

```
  <h4>見出しA</h4>
```

```
  <h4>見出しB</h4>
```

```
  <h6>見出しC</h6>
```

```
</section>
```



POINT 2

最初の見出しに続く別の見出しがあった場合、前の見出しよりもランクが下なら、そこから暗黙のサブセクションが始まる。

ランクが同じか上なら前のセクションを終了させ、新しい暗黙のセクションが始まる。



POINT 2

<body>

<h1>見出しA</h1>

<h2>見出しB</h2>

<p> . . . </p>

<h3>見出しC</h3>

<p> . . . </p>

<h2>見出しD</h2>

<p> . . . </p>

</body>

アウトライン

1. 見出しA
 1. 見出しB
 1. 見出しC
 2. 見出しD



POINT 2

`<body>`

`<h1>見出しA</h1>`

`<h2>見出しB</h2>`

`<p> . . . </p>`

`<h3>見出しC</h3>`

`<p> . . . </p>`

`<h2>見出しD</h2>`

`<p> . . . </p>`

`</body>`

`<body>`

`<h3>見出しA</h3>`

`<h5>見出しB</h5>`

`<p> . . . </p>`

`<h6>見出しC</h6>`

`<p> . . . </p>`

`<h1>見出しD</h1>`

`<p> . . . </p>`

`</body>`



POINT 3

**セクションの要素がある場合、
そのセクションを含む最も近いセクションまたは
セクションルートの子セクションになる。**
※見出しの数字は無視される。



POINT 3

```
<body>
  <h1>見出し</h1>
  <section>
    <h2>見出し</h2>
    <section>
      <h3>見出し</h3>
    </section>
    <section>
      <h3>見出し</h3>
    </section>
  </section>
</body>
```

```
<body>
  <h6>見出し</h6>
  <section>
    <h4>見出し</h4>
    <section>
      <h1>見出し</h1>
    </section>
    <section>
      <h5>見出し</h5>
    </section>
  </section>
</body>
```

見出しの使い方
ま と め



HTML5.1の見出しの使い方まとめ 1/2

HTML5.1の仕様としては、見出しとセクションの要素がセットで使われているなら、見出しは**h1~h6のどれを使ってもかまわない**ことになっている。

ただし、ブラウザや支援技術はその仕様に対応していない。



HTML5.1の見出しの使い方まとめ 2/2

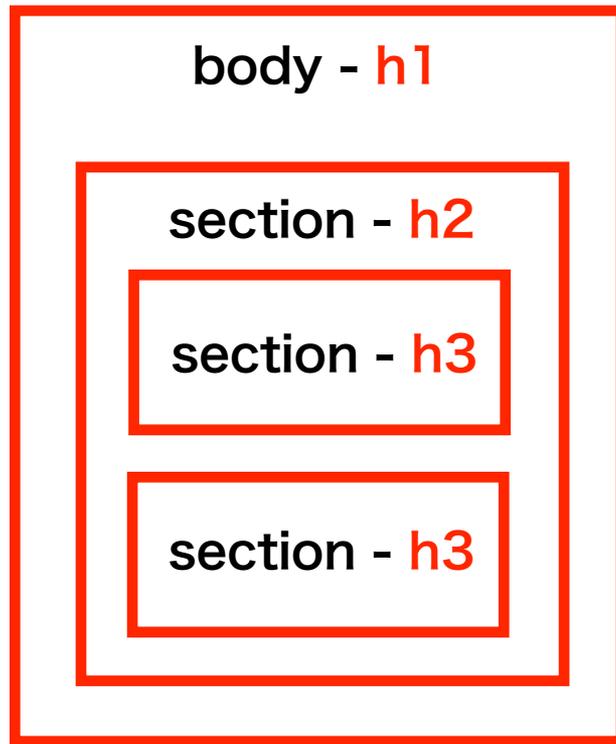
HTML5.1では、見出しの数字はセクションの階層に合わせることを推奨している。

これに従った場合、h1要素はセクションのルート要素（body要素）に1回しか使えないことになる。



HTML5.1の見出しの使い方まとめ

```
<body>  
  <h1>見出し1</h1>  
  <section>  
    <h2>見出し2</h2>  
    <section>  
      <h3>見出し3</h3>  
    </section>  
    <section>  
      <h3>見出し4</h3>  
    </section>  
  </section>  
</body>
```





レスポンスブイメーシ の指定方法





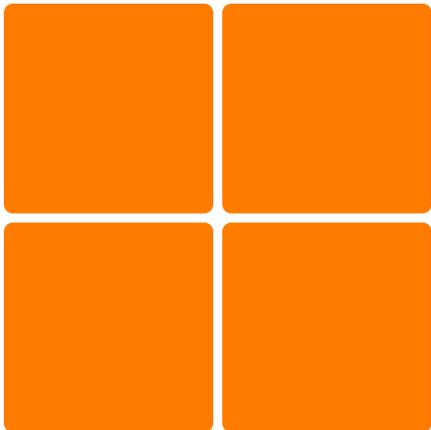
画面の解像度とCSSピクセルについて



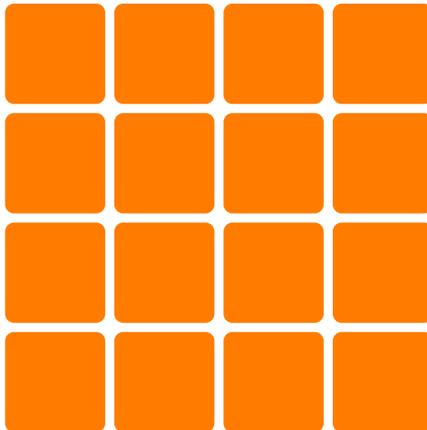


ピクセル密度

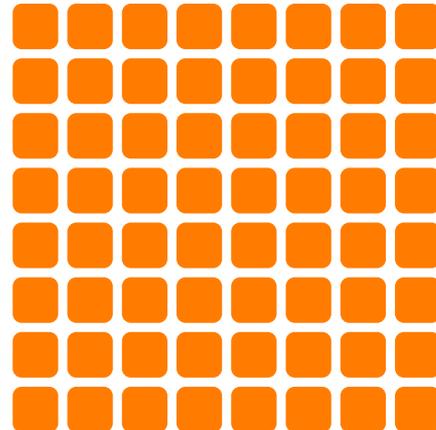
ピクセル密度 **1倍**
基準=96dpi



ピクセル密度 **2倍**
約200dpi



ピクセル密度 **4倍**
約400dpi



```

```

Demo

LPI-JAPAN HTML5 Professional Certification

Open the Future with **HTML5**.